



はいのたね



N S T (Nutrition Support Team)

N S Tとは、食欲低下等があり、栄養状態の悪い入院中の患者様を対象に、適切な栄養管理を行い、全身状態の改善・合併症の予防を目的として、医師・看護師・薬剤師・管理栄養士・リハビリテーションスタッフ等、職種を越えて構成された医療チームの事です。当院では週に1回、カンファレンスを実施しており、患者様の栄養状態について、病態や治療状況、検査結果、食事状況や患者様の嗜好、薬の副作用等、様々な視点から、改善策・最善策を考え、病状に合った栄養サポートをしています。また管理栄養士は、必要な栄養量の計算をし、退院後の生活を考慮した栄養指導も行っています。



新任職員紹介 (看護助手)



平成 28 年 6 月 14 日より、看護助手として井上病院に勤務する事となりました、中尾です。患者様に笑顔で接し、安心して頂けるように支援していきたいと思っております。早く仕事を憶えて頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

美化活動

6月11・25日に、病院周辺と駐車場の清掃をおこないました。雨天を心配していましたが、職員の有志を募ったところ、全員参加でした。これもチームワークのよさでしょうか。手際よく終了することができました。



ふう～頑張った!!
随分きれいになったぞ～

草も生えてくるよね～



窓もピッカピカ★

隙間も大事♡
隅々までお掃除



喫煙に関して

西川 敏雄



喫煙が体にとってよくないことは明らかです。よくないことが分かっている禁煙しようとしても、なかなかできないのは、タバコの中に含まれているニコチンによるニコチン依存症という薬物依存(中毒)があるからで、喫煙は嗜好や趣味の問題ではなく病気であると考えられています。



そのため、当院を含めた医療機関では薬を使用した禁煙治療を行い、この 喫煙=中毒=病気を治す治療を行っています。この春からは従来よりも保険の適応が拡がり、禁煙本数の少ない若年者に対しても、このような禁煙治療ができるようになりました。

しかし、このような保険適応の拡大に対し反対の意見も存在します。ニコチンには依存性があるもののその程度は弱いことが学術的にも社会的にも認められています。喫煙者はアルコール依存症患者などと異なり、何ら支障なく通常の日常生活を送っている。また、タバコは成人が自ら判断して愉しむ合法的な嗜好品である。といったことがその理由です。実際、禁煙者を対象とした禁煙時のサポート利用状況などを問う調査結果の中には、約95%の禁煙者はどのような禁煙サポートも利用せずに、また、いかなる禁煙補助具も使用せずに独力で禁煙したことを示すものや、禁煙成功者の81.7%が「自分の意志のみ」で禁煙に成功したことを示すものがあります。



どちらを信じるかはお任せしますが、喫煙が体にとってよくないことは明らかです。我々医療従事者は、喫煙によって病気になり、そして後悔されている人をたくさんみます。自分の意思だけ、もしくは、医療機関にかかっても、とにかく喫煙をやめることを強くお勧めします。

